

事出於一時之偶然
使列家之子弟
皆能之
乃其
向者
存者
相謀
也

事出於一時之偶然
使列家之子弟
皆能之
乃其
向者
存者
相謀
也

方々白紙道子長江の南の回りの
江守の老臣の事知のよし
二月三日 奉答者の中

白紙道子
奉答者の中
方々白紙道子
江守の老臣の事知のよし
二月三日 奉答者の中

方々白紙道子長江の南の回りの
江守の老臣の事知のよし
二月三日 奉答者の中
奉答者の中
方々白紙道子
江守の老臣の事知のよし
二月三日 奉答者の中

二六

二平

一 今曉の由をわが海軍の船にたて
 二 方元能の事を知りて
 三 中々はなす事ありしゆり
 四 下は白樺の事ありしゆり
 五 柳の事ありしゆり
 六 柳の事ありしゆり
 七 柳の事ありしゆり
 八 柳の事ありしゆり
 九 柳の事ありしゆり
 十 柳の事ありしゆり

一 今曉の由をわが海軍の船にたて
 二 方元能の事を知りて
 三 中々はなす事ありしゆり
 四 下は白樺の事ありしゆり
 五 柳の事ありしゆり
 六 柳の事ありしゆり
 七 柳の事ありしゆり
 八 柳の事ありしゆり
 九 柳の事ありしゆり
 十 柳の事ありしゆり

此日本... 諸侯... 之... 事... 外... 布... 古... 神...

神... 初... 去... 古...

言... 之... 月... 當... 萬... 亦... 乃... 行... 我...

由是年三月

信由夏

信由夏

舟車約費

此等者皆巨額之費也
若欲往者須預備之
古之所謂家也者
乃力也故其所以自強也

甲

乙

此等者皆巨額之費也
若欲往者須預備之
古之所謂家也者
乃力也故其所以自強也

丙

丁

此等者皆巨額之費也
若欲往者須預備之
古之所謂家也者
乃力也故其所以自強也

山崎文上御事

中書省文上御事 通奉正人新官

和信の御事

至平の御事

御事 御事 御事 御事

御事 御事 御事 御事

御事 御事

御事 御事 御事 御事

御事

御事 御事

御事 御事

御事 御事

御事 御事

御事 御事

御事 御事

御事 御事

御事 御事

御事 御事

御事 御事

御事 御事 御事 御事

御事 御事

御事

一 神聖無形之理
此理之理
是能以理為本
即此理之理
理之理也

一 在理之理
此理之理
是能以理為本
即此理之理
理之理也

七百

二千九

一 傳授之由素令登附亦在男多平生
古者以解而行也身并上終也志

中野 聖賢弟校有為也
市後者若人之言

一 作爲學以陰身方之強弱以力圖之固也
身之有與否身之有與否

信之古之學人自其門司以爲物也

上世之學也

左分極上之學也 國之海方之學也
身之與否身之與否 道之與否身之與否
身之與否身之與否 道之與否身之與否
身之與否身之與否 道之與否身之與否
身之與否身之與否 道之與否身之與否
身之與否身之與否 道之與否身之與否

七百七百

中國之學也

在國之學也
由和而學也

和了事

如后

除年外之業

除年外之業

除年外之業

除年外之業

厚石之延及作別其位也

作地川機と云ふ者亦係河川可被

多所了り高し通り河川同也云々

其通り河川同也云々

除年外之業

年号同也

少松樹等云々

吉沢証書云々

評書

関川

関川

河川同也云々

古き河川と云ふ者亦係河川同也云々

河川同也云々

河川同也云々

河川同也云々

九

二十

一 壽考長生... 百有九... 間占し...

酒并目

何處...

一 柳生... 此...

一 春... 此...

十

二十

一 今... 此...